

## 病院船を巡る主な動き

年月	
1986年11月	伊豆大島三原山が噴火し、病院船の導入議論が始まる
1991年6月	中東湾岸危機（90年）を受け政府が「多目的船舶調査検討会」を設置
1995年1月	阪神大震災発生
1997年	政府が有識者らからなる「多目的船基本構想調査委員会」を設置
2001年3月	多目的船基本構想調査委員会は「政府艦船で対応可能」と報告書
2005年4月	日本学術会議は小泉純一郎首相に対し広域災害時の病院船等の救急医療の整備などを行うよう勧告
2011年3月	東日本大震災発生
4月	国会議員による「病院船建造推進超党派議員連盟」が発足（後に「病院船・災害時多目的支援船建造推進議員連盟」に改称） 政府は有識者からなる「災害時多目的に関する検討会」を設置
2015年6月	自民・公明党議員が「海洋国日本の災害医療の未来を考える議員連盟」を結成
2018年6月	米国病院船「マーシー」が東京港に寄港
2020年2月	「超党派・災害時医療等船舶利活用推進議員連盟」が発足 内閣府が「病院船の活用に関する検討会」を設置
2021年6月	「災害時における船舶を活用した医療提供体制の整備に関する法律」（病院船推進法）が成立
2023年7月	NPO 法人ピースウィンズ・ジャパン災害医療支援船「パワーオブチェンジ」就役